

第3回 ものづくり現場用語検定委員会

令和5年12月6日

一般社団法人東京都金属プレス工業会

役 職	氏 名	会社名	役 職
専門委員	石橋 弘彰	(株)日刊工業新聞社	編集局第1産業部長
〃	内原 康雄	(株)NCネットワーク	代表取締役社長
〃	小野田一夫	(有)カズ・システム	取締役社長
〃	片岡 征二	元湘南工科大学	教授 日本金属プレス工業協会 技術・教育教育委員長
〃	小渡 邦昭	塑性加工教育訓練研究所	代表
〃	添田 善信	東京都立城東職業能力開発センター	講師
〃	中島 次登	元中央労働災害防止協会	技術支援部 労働安全コンサルタント
〃	森 和男	(一財)先端加工機械技術振興協会	理事
〃	木下 浩司	(株)アマダプレスシステム	プレスシステム事業本部 エンジニアリング部プレスGR
委 員	高橋 恭久	(株)タカハシテクノ	代表取締役社長
〃	増田 靖治	(株)増田製作所	代表取締役社長
〃	貫井洋一郎	(一社)東京都金属プレス工業会	専務理事
事務局	栗原 一利	〃	

議事次第

1. 本事業の進捗状況について
2. 用語検定試験内容について
3. その他

1. 本事業の進捗状況について

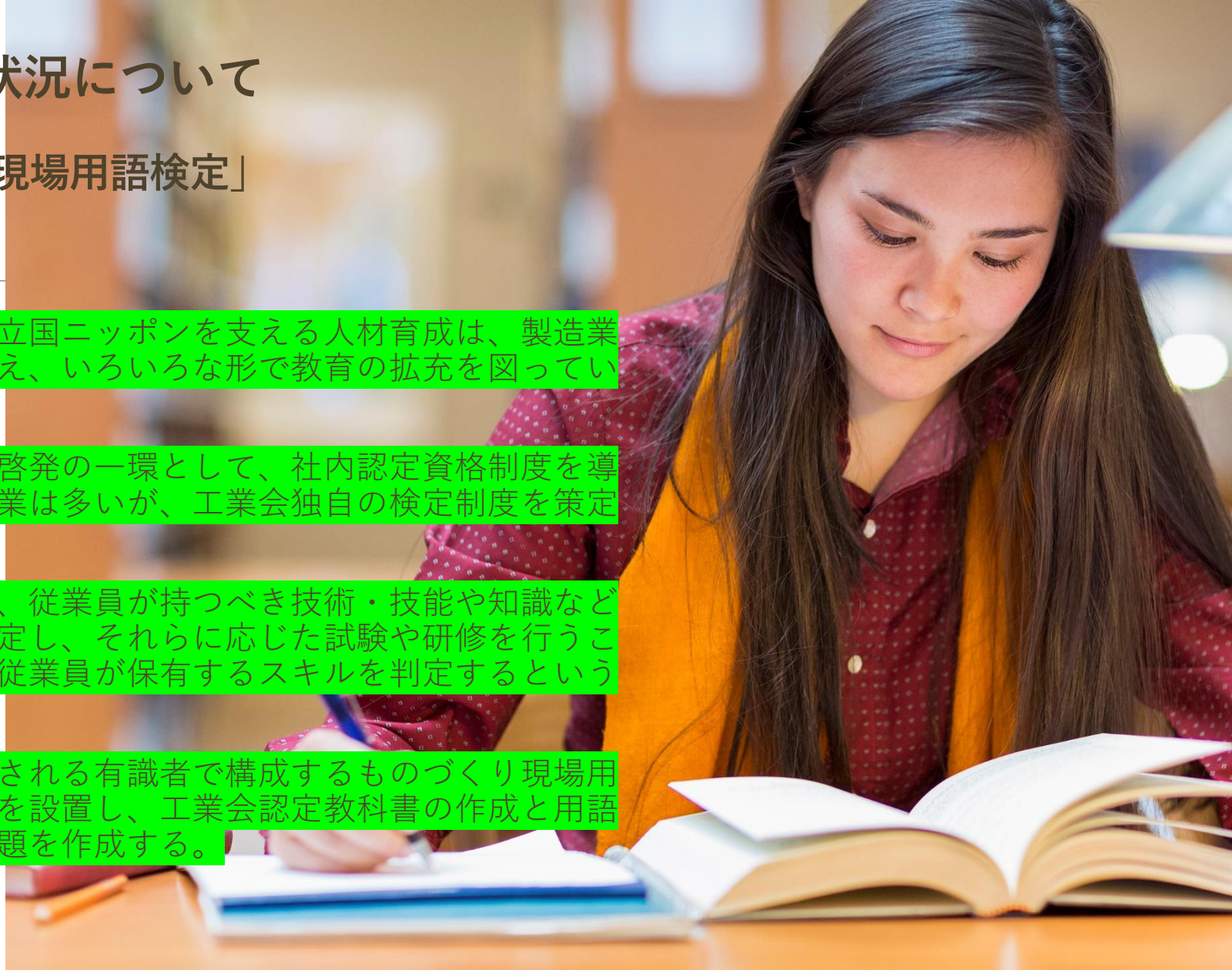
製造業版「ものづくり現場用語検定」

本会は、工業立国ニッポンを支える人材育成は、製造業の生命線と考え、いろいろな形で教育の拡充を図っている。

従業員の自己啓発の一環として、社内認定資格制度を導入している企業は多いが、工業会独自の検定制度を策定する。

検定制度とは、従業員が持つべき技術・技能や知識などのスキルを設定し、それらに応じた試験や研修を行うことによって、従業員が保有するスキルを判定するというものである。

各方面で活躍される有識者で構成するものづくり現場用語検定委員会を設置し、工業会認定教科書の作成と用語検定の試験問題を作成する。

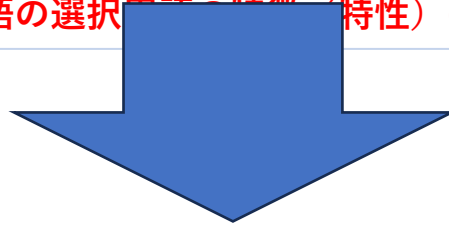


2. 用語検定試験内容について

用語検定の問題例（案）

* マークシート採点を想定して、4択とする。

* 正誤問題でなく、文章への用語挿入・用語の選択（用語の特性）の選択 等が考えられる。

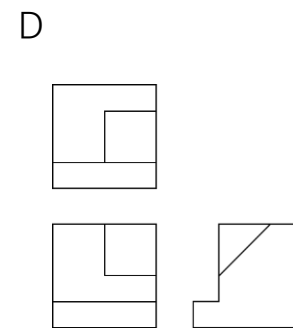
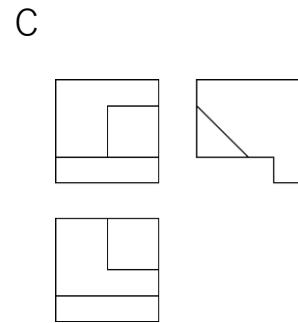
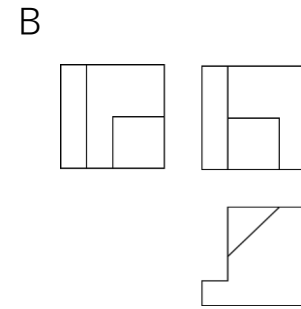
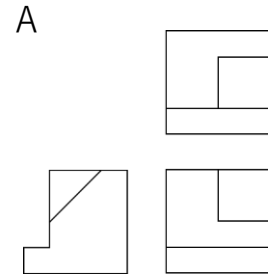
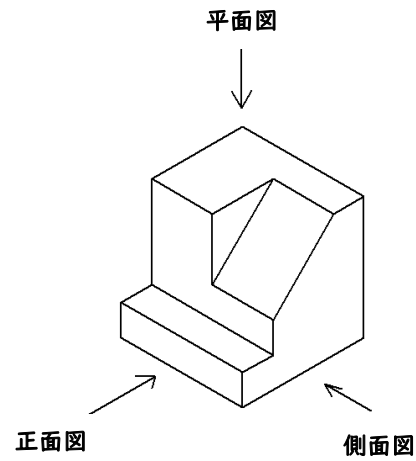


1：下記の①に入る用語で適切なものをAからDのどれか。

- 軸受けのシャフトを挿入しようとしたが、スムーズの入らない。外径は、マイクロメータで先端・中間・末端の3ヶ所測定したが、指定寸法であった。そこで、「①」を確認する必要性が生じた。
- A：「形状公差」まんまるなので本来あるべき形状
- B：「姿勢公差」基準に対する姿勢
- C：「位置公差」あるべき位置
- D：「振れ公差」回転させた時の軸のフレ

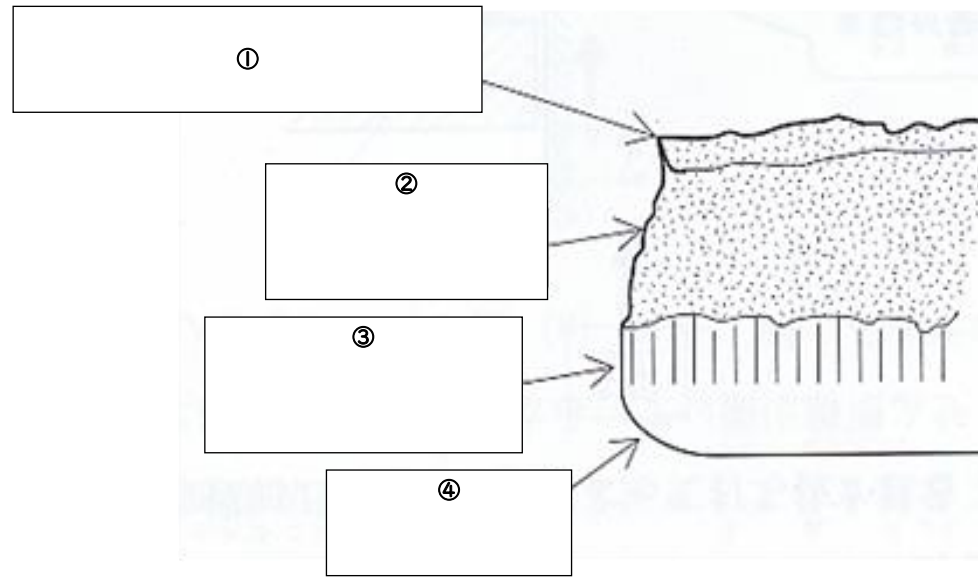
現場での会話等を
想定する。

2：下図の形状を第三角法で作図したとき、適切な「3面図」とはAからDのどれか？



3：せん断加工された端面を状態である下図の中の①から④までの名称で適切な組み合わせは、A～Dのどれか。

- | ① | ② | ③ | ④ |
|--------|------|------|------|
| A：せん断面 | だれ | バリ | 破断面 |
| B：破断面 | せん断面 | だれ | バリ |
| C：バリ | 破断面 | せん断面 | だれ |
| D：だれ | バリ | 破断面 | せん断面 |



その他

1. 試験問題作成締切 2023年1月 日（ ）